

# 川上〈株〉は命も奪うのか!?

## 無収入の中国人実習生に 金払わず、寮費払え 払わなければ、電気 ガス 水道止める

最後の賃金から勝手に宿舍費値上げして天引き

3月9日、(株)ミニオンの太田工場長と通訳が実習生の寮にやってきて、1枚の紙を置いていきました。それには翌日10日までに宿舍費を支払え、払わないときはガス・電気・水道を止めると書かれていました。

会社が2月6日までの賃金を支払ったのは2月25日。このとき、「川上」=ミニオンは彼女たちに未払いが400万円以上あるにもかかわらず、11月賃金から勝手に宿舍費を500円値上げして、今回も22,500円を引いて渡しました。彼女たち実習生は、3年間の研修・技能実習期間が終わり、現在は争議のために在留を特別に延長してもらっており、働くことはできず、収入を得ることはできません。

10畳ほどの部屋に多いときは8人、家賃17万6千円!?

川上の宿舍が建っているのは、「宅地」ではなく、「山林」です。床もはがれたままのボロボロの2階建て。1階に炊事場・風呂・トイレがあり、2階に10畳ほどの部屋が2部屋。多いときは、1部屋に8人が住まわされていました。1人22,000円ですから8人なら176,000円にもなります。暴利をむさぼってきたとしか言いようがありません。彼女たちが出ても、次に入居する人などいないのです。

日本語で「川上忠男 残業代400万円支払え」

2月9日以降、話し合いに応じようともせず、解決しようとする姿勢もない川上忠男社長、そして、法律違反の残業代を払おうともせず、3月分の宿舍費を請求し、払わなければライフラインを止めるというやり方に実習生の怒りが爆発し、彼女たちは日本語で「川上忠男 残業代400万円支払え」と紙に書いて直談判に行きました。すると、社長はその紙を破り捨て、外へ逃げました。彼女たちが社長を追いかけると、なんと日本人従業員も会社から出てきて、実習生に「早よ、中国に帰れ」と「帰れコール」を浴びせました。

日本人従業員がすべきことは「川上」を正すこと

今回の問題で会社の経営が危機にさらされているのは事実ですが、それは実習生の責任ではありません。「川上」の責任です。そして、これまで日本人従業員が働いてこられたのは、中国人実習生が最低賃金の半分以上の賃金で毎日深夜まで、身を削って1日に2日分働いてきたおかげです。だから、07年11月に入国管理局・労働基準監督署が入って、実習生の受け入れ禁止などの処分を受けると、川上(株)・(株)神戸刺繍工業・(株)三善・(株)エル・ランシャンの4「社」は営業できなくなったのです。実習生がいなければ、成り立たないのです。実習生が求めているのは、法律で定められた最低賃金での支払いです。日本人従業員がすべきことは、実習生への攻撃などではなく、法律違反を繰り返してきた川上(株)を正すことです。

市民のみなさん、実習生の命を守ってください。無収入の彼女たちが帰国できるまで、安全に生活できるように、川上(株)に抗議・要請をしてください。

抗議先：川上株式会社  
(代表取締役社長)川上 忠男  
神戸市北区鈴蘭台東町2-4-32  
TEL: 591-2211 FAX: 591-8881

# 神戸ワーカーズユニオン

TEL 078(232)1838 / FAX 078(232)1839 E-mail: kobeunion@rouge.plala.or.jp